

鉄鋼業の現状について

2022年11月

製造産業局 金属課

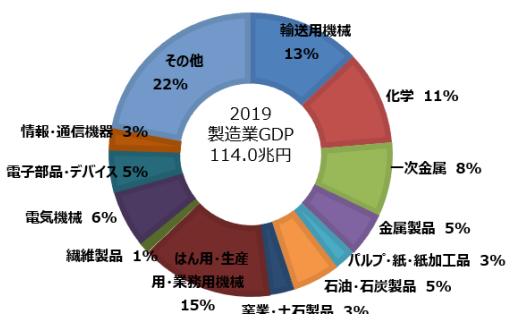
鉄鋼産業の位置づけ

- 鉄鋼産業をはじめとする我が国の素材産業の方向性について議論を行い、「新・素材産業ビジョン」の中間整理を令和4年4月にとりまとめ。

①日本経済・地域経済の基幹産業

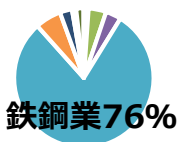
鉄をはじめとする素材産業は製造業GDPの2割、鉄鋼22万人、化学94万人の雇用を支える我が国の基幹産業。工場が立地する地域経済の牽引役としても重要な役割を果たす。

＜製造業GDPの割合＞



＜出典＞内閣府「国民経済計算（経済活動別国内総生産）」

＜製造品出荷額の割合＞



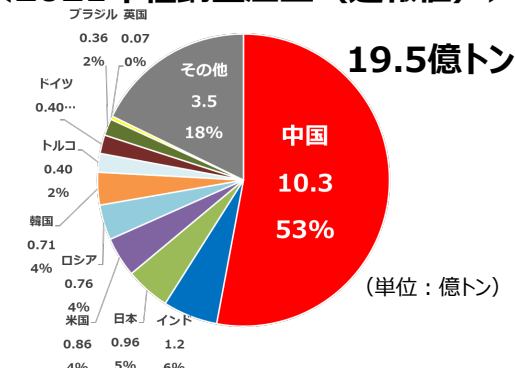
室蘭市

＜出典＞経済産業省工業統計表（2019）

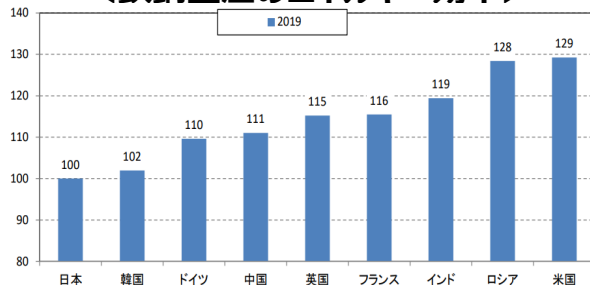
②高い国際競争力

中国の伸長をはじめ、鉄鋼業では熾烈な国際競争が行われているが、その中でも我が国は、例えば生産プロセスにおけるエネルギー効率について世界最高水準を満たしている。

＜2021年粗鋼生産量（速報値）＞



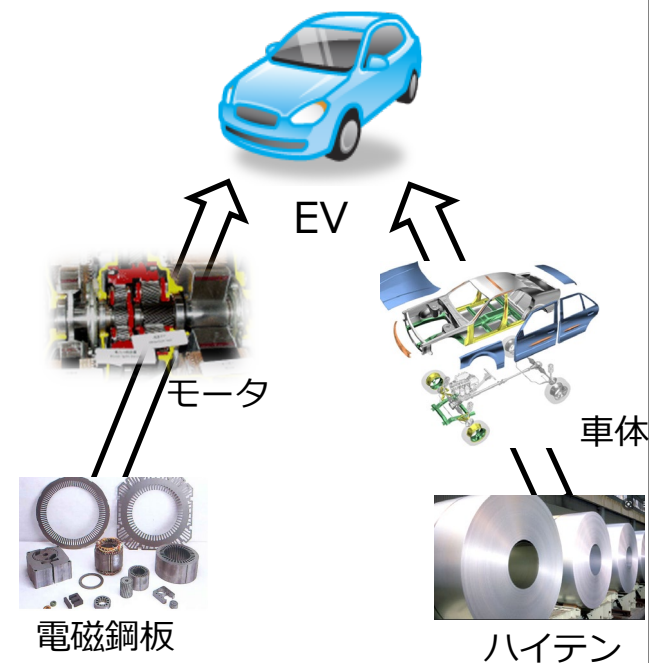
＜鉄鋼生産のエネルギー効率＞



（出典）公益財団法人地球環境産業技術研究機構『2019年時点のエネルギー原単位の推計』

③川下産業・国民全般への質の高い素材供給

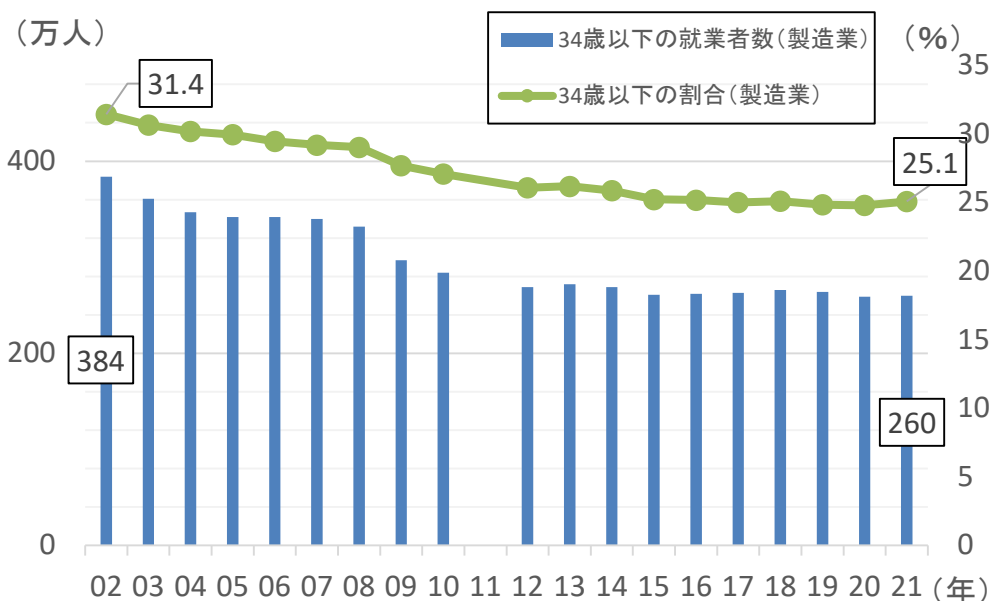
我が国の強い素材産業は、川下製造業からの高い品質・価格要求に対応し、他産業の競争力の基盤。



「新・素材産業ビジョン」における人材についての議論

- 生産現場の効率化に加え、ビジネスイノベーションに向けたデジタル技術の活用のため、デジタル人材を確保することが必要。
- 素材産業においては、新しい価値を創造する研究開発人材や世界トップレベルの生産技術を実現するノウハウを有する現場人材を将来も確保し続ける必要がある。

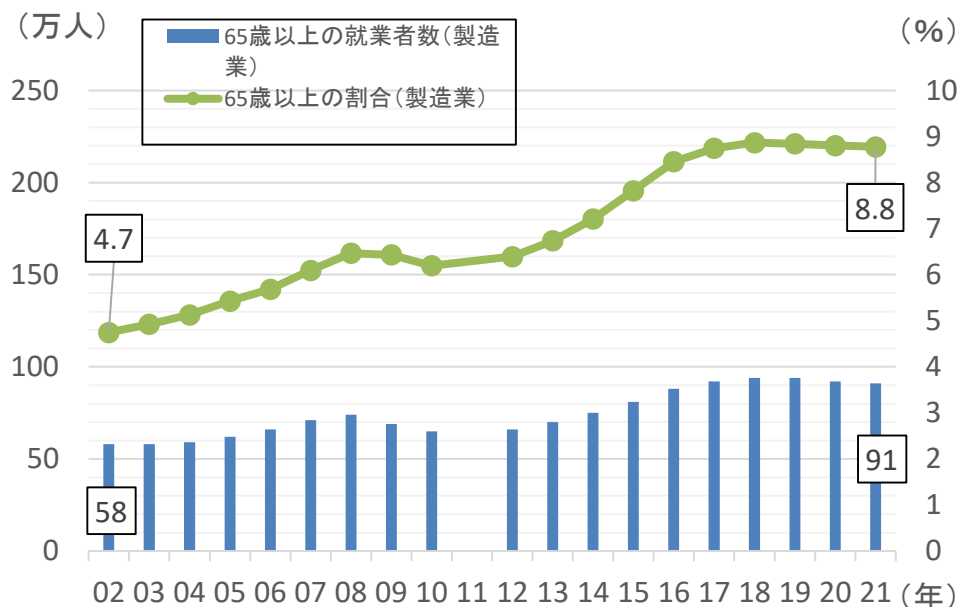
<若年就業者（34歳以下）の推移（製造業）>



備考：2011年は、東日本大震災の影響により、全国集計結果が存在しない。分類不能の産業は非製造業に含む。

資料：総務省「労働力調査」（2022年3月）

<高齢就業者（65歳以上）の推移（製造業）>



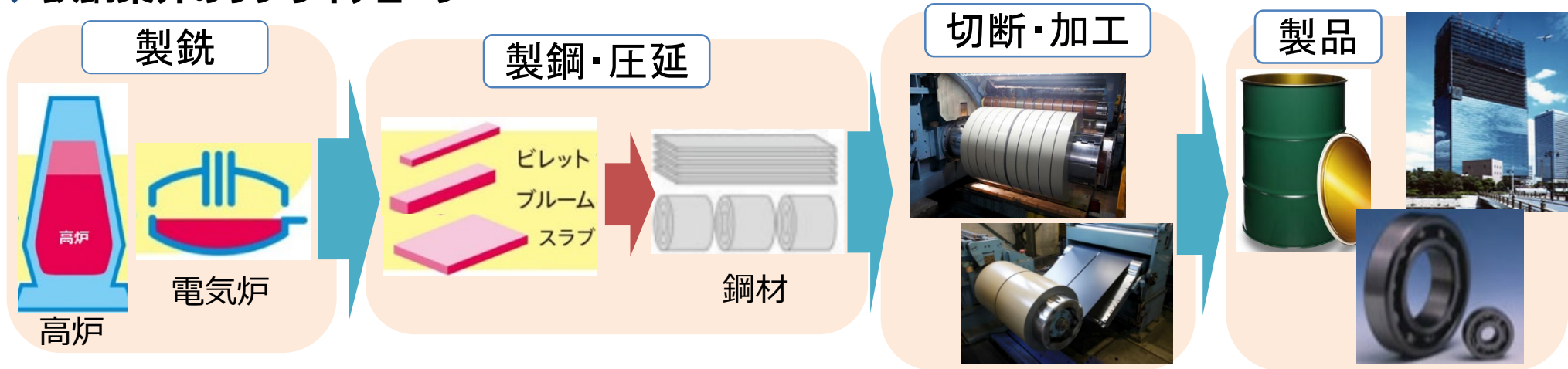
備考：2011年は、東日本大震災の影響により、全国集計結果が存在しない。分類不能の産業は非製造業に含む。

資料：総務省「労働力調査」（2022年3月）

鉄鋼産業の人手不足の現状について

- 鉄鋼産業は、高温や危険等と隣り合わせの厳しい職場環境ということもあり、製鉄や製鋼・圧延工程に続く切断・加工、部品や鉄鋼製品の製造という長いサプライチェーンの各段階で人手不足は深刻化。
- 人手不足解消に向けた努力は続いているものの、このままの状況が続けば、鉄鋼の安定供給を脅かし、サプライチェーン途絶に直結する問題になり得る。

◆ 鉄鋼業界のサプライチェーン



◆ 人手不足解消に向けた鉄鋼関係の各業界団体や個社の取り組み（例）

製鉄所でのドローン利活用



製鉄所でのドローン利活用に係る規制を緩和するよう働きかけを実施。ドローンの自動運転が活用されることで、広大かつ危険な場所の多い製鉄所での点検作業の大幅な効率化が期待される。

現場の多能工化



技能講習会への補助金支給等を実施し、会員企業社員の多能工化を補助。現場の多能工化・機動運用等について議論を実施し、議論で得た情報については会員企業へ展開。

女性・高齢者雇用



会員企業の女性社員に向けた講習会を行い、会社を超えたコミュニティの形成を支援。雇用延長制度等で70歳まで雇用可能な雇用体系を設ける等、高齢者雇用に取り組む企業も出てきている。